

arkray

自己検査用グルコース測定器

GLUCOCARD

**PlusCare**

グルコカード プラスケア

GT-1840 取扱説明書

ご使用前は必ずこの取扱説明書を読み、主治医の指導にしたがってください。

# はじめに

このたびは、グルコカード プラスケアをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- この取扱説明書には、グルコカード プラスケアを使って血糖値を測定するための操作方法と注意点が記載されています。
- お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しい操作で血糖値を測定してください。
- あわせて、自己検査用グルコースキット「Gセンサー\*」と採血器具の添付文書および取扱説明書もお読みになり、注意事項をお守りください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せる場所に保管してください。

## EMC適合

本測定器は、EMC 適合規格IEC61326-2-6:2012に適合しています。

特記事項： エミッションの分類 クラスB

\*体外診断用医薬品承認番号21400AMZ00483000

・化粧箱および取扱説明書のグルコカード プラスケアのイラスト表示は簡略化してありますので、実際とは異なります。

この取扱説明書では、注意していただきたい事項に以下の表記記号をつけています。

**警告** 記載事項を守らないと、使用者または周囲の人が命の危険にさらされることがあります。

**注意** 記載事項を守らないと、使用者または周囲の人がけがをしたり、物的損傷を受けたり、正しい測定結果を得られなかったりすることがあります。

**重要** 正しい操作と測定のために、おぼえておいていただきたい情報です。測定器の故障につながる取り扱い、正しい測定結果を得られない原因、および機能の正しい使用方法について記載しています。

**参考** 知っておくと便利な情報が記載されています。

**はじめに**

はじめに.....	1
表記記号について.....	2
もくじ.....	3
説明の流れ.....	5

**使用上の注意**

使用上の注意.....	7
-------------	---

**準備**

グルコカード プラスケアとは.....	21
各部の名称.....	22
梱包品の確認.....	23
収納ケースの使いかた.....	24
血糖値の測定に必要なもの.....	25

**測定**

血糖値の測定.....	29
-------------	----

**便利な機能**

操作ボタンを使うには.....	45
電源について.....	46
便利な機能の一覧.....	47
記憶データを確認する.....	48
音声ガイドとブザー音を設定する.....	50
日付と時刻を設定する.....	51
測定値に色をつける.....	54
通信のタイプを設定する.....	56

**電池の交換**

電池を交換する.....	59
--------------	----

**困ったときは**

操作方法に困ったときは.....	63
画面に表示される記号・マーク.....	68
エラー表示の原因と対処方法.....	71
その他の表示の原因と対処方法.....	82

装置仕様 .....	87
保証規定 .....	89
索引 .....	91

はじめに

使用上の注意

準  
備測  
定

便利な機能

電池の交換

困ったときは

この取扱説明書は、7つの章で構成されています。

グルコカード プラスケアを正しくお使いいただくためには、すべてをお読みいただくことが大切ですが、「使用上の注意」「準備」「測定」の章は必ずお読みください。

製品の仕様、保証規定、索引は、この取扱説明書の最後に記載しています。ご参考にお読みください。

はじめに	この取扱説明書について説明しています。	P1~6
使用上の注意	安全にお使いいただくための注意事項です。 <u>ご使用前に必ずお読みください。</u>	P7~20
準備	グルコカード プラスケアの説明および測定の準備について説明しています。 <u>必ずお読みください。</u>	P21~28
測定	血糖値の正しい測定方法について説明しています。 <u>必ずお読みください。</u>	P29~44
便利な機能	過去の測定結果の呼び出しや各種設定など便利な機能についての説明です。	P45~58
電池の交換	電池交換について説明しています。	P59~62
困ったときは	思いどおりに操作できないときやエラーが発生したときにお読みください。	P63~86

はじめに

使用上の注意

準備

測定

便利な機能

電池の交換

困ったときは

## 使用上の注意

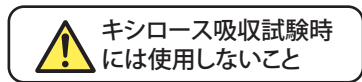
グルコカード プラスケアを正しく、安全にお使いいただくために守っていただきたいことを以下に示します。

### 警告

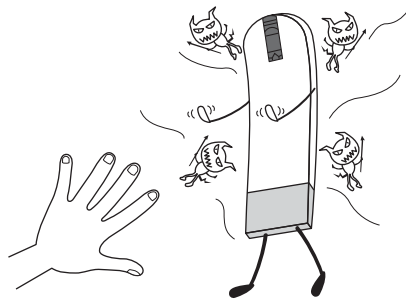
実際の血糖値より高値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないでください。〔その偽高値に基づいてインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがあります。〕

- ・キシロース吸収試験を実施中の患者
- ・プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者

グルコカード プラスケアは、原則として患者自身が自宅などで血糖を測定する場合に使用してください。



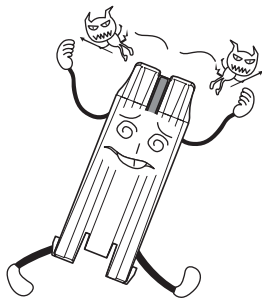


**警告**

血糖値を測定したあとのGセンサーには血液が付着しています。病原微生物などの感染を防ぐために、他の人に触れないように廃棄してください。

**警告**

Gセンサー、採血針、電池は、乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲みこんだときは、すぐに医師に相談してください。

**警告**

感染の危険性がありますので、一度使った採血針は必ず廃棄してください（詳しくは採血針の添付文書をお読みください）。

**警告**

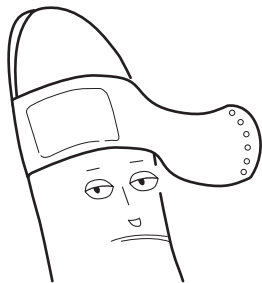
使用済みの採血針には血液が付着しています。病原微生物などの感染を防ぐために、他の人に触れないように廃棄してください（詳しくは採血針の添付文書をお読みください）。

**警告**

前腕用採血器具をご使用いただくことで、前腕からの採血による測定ができますが、右のようなときには、指先から採血をしてください。

- 運動のあとなど、血糖値が急激に変化する可能性のあるとき
- 発汗/冷や汗、浮揚感、震えなど低血糖の症状があるとき
- 血糖低下状態で、すぐに低血糖かどうか知る必要があるとき
- かぜをひいたときなど、体調のすぐれないとき

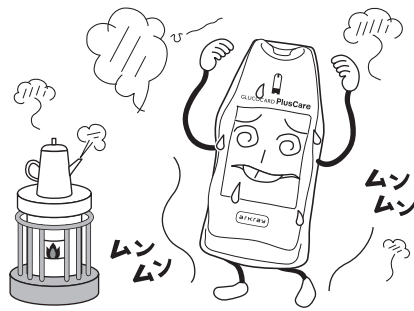
**重要** 急激な血糖の変動が認められるとき、「前腕の血糖変動は指先よりも遅れることがある」という報告があります。

**警告**

感染の危険性がありますので、採血部位の消毒を必ず行ってください。また、採血後は必要に応じてばんそうこうなどで止血および保護してください。傷口が治りにくいときは、こまめに消毒してください。

**警告**

使用済みの電池を加熱したり、火に投げ入れたりしないでください。破裂してけがを負うおそれがあります。使用済みの電池は、お住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。

**注意**

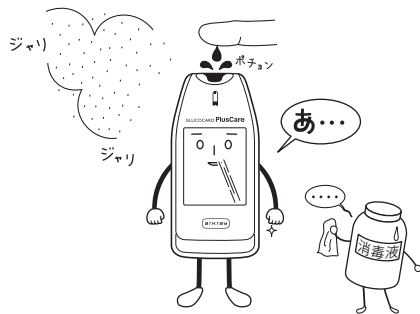
グルコカード プラスケアとGセンサーを収納ケースから取り出し、温度10～40℃、湿度20～80%の環境に20～30分以上なじませてから測定をしてください。

グルコカード プラスケアを移動した場合は、温度差が大きいほどなじむまでの時間が必要です。なじんでいない場合、温度補正が正常に行われなため正しい測定結果が得られません。また、温度変化の激しいところや湿度の高いところでは、グルコカード プラスケアの内部に水滴が発生して正しい測定結果が得られません。グルコカード プラスケアは、0～45℃の環境で保管してください。また、寒い季節で測定温度範囲外マークが表示されている場合、グルコカード プラスケアだけを暖房機や手で直接暖めて測定しないでください。



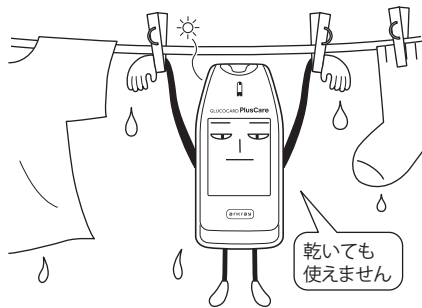
### 注意

センサー挿入口の近くを持たないでください。このあたりには、測定誤差を小さくするための温度センサーが内蔵されています。手のぬくもりの影響で、正しい測定結果が得られません。

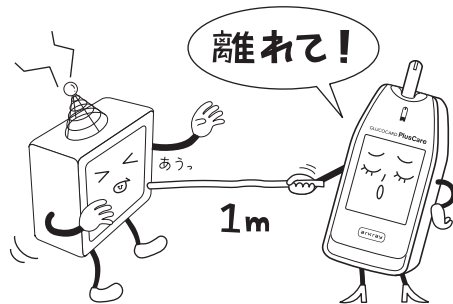


### 注意

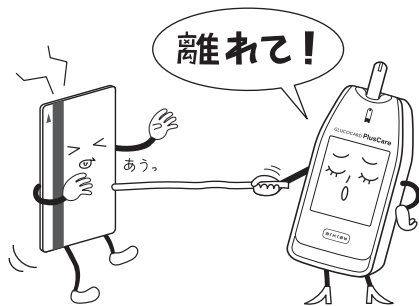
センサー挿入口に、血液や水分、ほこりなどを入れないでください。正しい測定結果が得られなかったり、作動しなくなる原因になります。  
 グルコカード プラスケアが汚れたときは、水で湿らせたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。消毒液などを付けて強くふくと、表示部に傷がつくおそれがあります。

**注意**

水の中に落としたり、内部に水分が流入したグルコカード プラスケアは、たとえ乾燥させたあとでも使用しないでください。正しい測定結果が得られなかったり、グルコカード プラスケアが誤動作することがあります。

**注意**

テレビ、電子レンジ、低（高）周波治療器などの電磁波を発生する電子機器の近くでは、正しい測定結果が得られないことがあります。電子機器の電源を切るか、または電子機器から1 m以上離して測定してください。

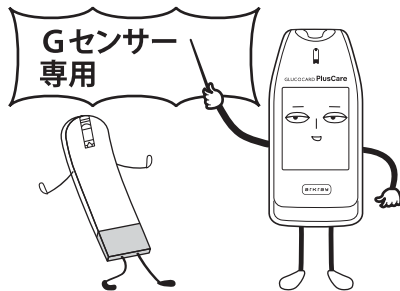
**注意**

グルコカード プラスケアのスピーカーにクレジットカードなどの磁気の影響を受けるものを近づけないでください。近づけたカードが正しく使用できなくなることがあります。

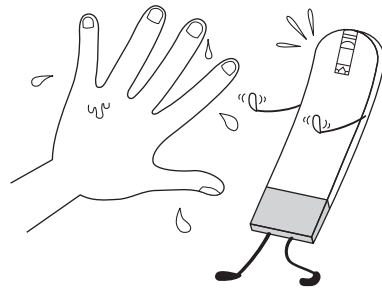
**注意**

航空機内への持ち込みは、航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与えるおそれがあります。

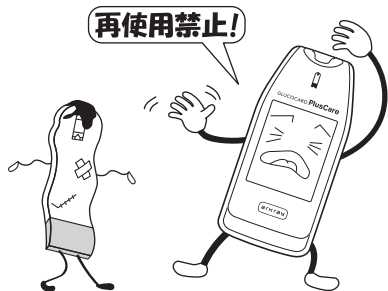


**注意**

測定には、必ずGセンサーをご使用ください。他のセンサーでは測定できません。また、センサー挿入口に他のセンサーを無理やり差し込まないでください。故障の原因となります。

**注意**

Gセンサーを手で持ったままにしないでください。濡れたり汚れたりした手で持たないでください。正しい測定結果が得られません。

**注意**

一度、血液を吸引させたGセンサーは使用しないでください。正しい測定結果が得られません。

**注意**

使用期限の過ぎたGセンサーは使用しないでください。正しい測定結果が得られません。

**注意**

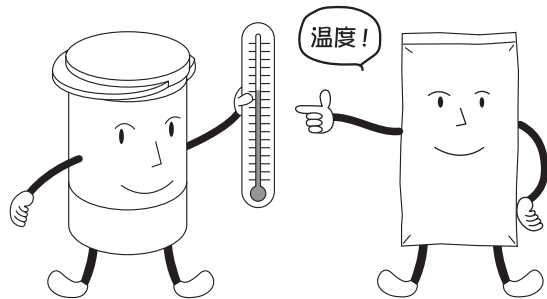
Gセンサーがボトル包装の場合、ボトルを開封したら、日付をラベルの開封日記入欄に書き込んでください。また、開封してから3ヶ月を経過したボトルのGセンサーは使用しないでください。正しい測定結果が得られません。

**注意**

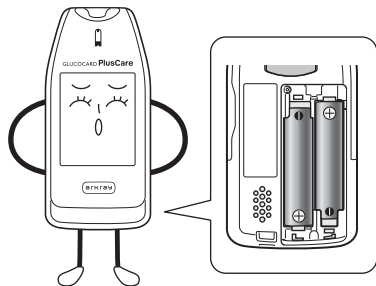
ボトルまたはアルミパックから取り出したGセンサーは放置したり、別容器に小分け保存したりしないでください。正しい測定結果が得られません。

**注意**

ボトル包装の場合、ボトルからGセンサーを取り出したら、すぐにボトルのふたを閉めてください。ふたが開いたまま保存されていたGセンサーを使用すると、正しい測定結果が得られないことがあります。ふたが開いていた場合は、新しいボトルのGセンサーで測定してください。

**注意**

Gセンサーは、温度1~30℃の環境で保管してください。それ以外の環境で保管していたGセンサーでは、正しい測定結果が得られません。特に、夏場の自動車の車内は60℃近くになります。車内にGセンサーを放置しないでください。

**注意**

電池は正しい向きに入れてください。作動しないだけでなく、時刻の設定がリセットされることがあります。

はじめに

使用上の注意

準備

測定

便利な機能

電池の交換

困ったときは

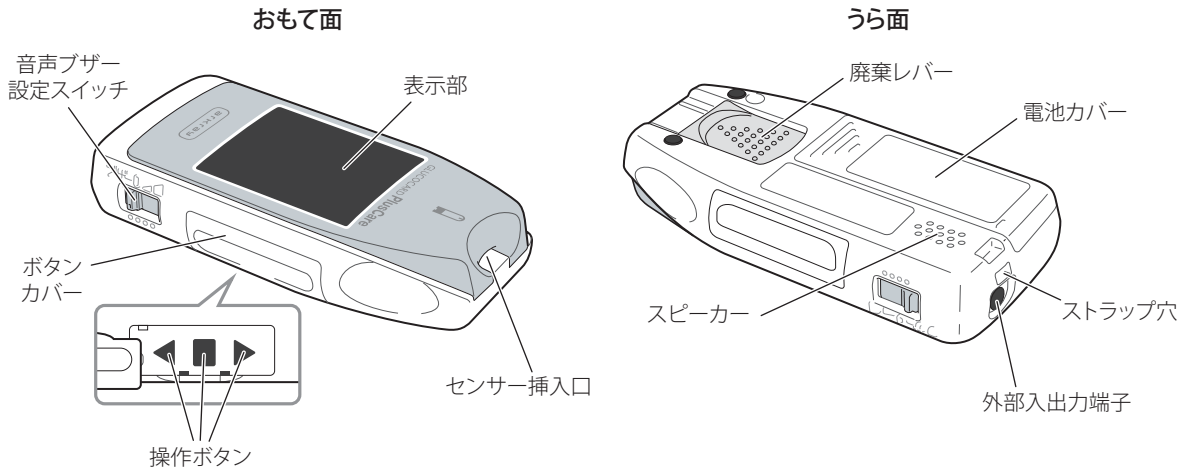
## グルコカード プラスケアとは

グルコカード プラスケアは、血糖値を自己管理するための自己検査用グルコース測定器です。以下の特長があります。

- センサーの補正操作の必要がないため、すぐに測定をはじめることができます。
- わずか0.6  $\mu$ Lの血液で測定できます。
- 血液を吸引すると自動的に測定がはじまり、5.5秒で測定結果が表示されます。
- カラーと日本語により、わかりやすく画面表示されます。
- 操作説明をイラストとアニメーションで確認することができます。
- 廃棄レバーにより、手で触れることなくGセンサーを廃棄できます。
- 800回分の測定結果を記憶できるので、必要なときに過去の測定結果を確認することができます。
- 操作方法や測定結果などを音声でガイドします。

# 各部の名称

この取扱説明書では、グルコカード プラスケアの各部を以下のように呼びます。



## 梱包品の確認

グルコカード プラスケアの箱の中には、以下のものが入っています。これらがすべてそろっていることを確認してください。



収納ケース



グルコカード プラスケア



添付文書



取扱説明書



保証書・  
保証書登録カード



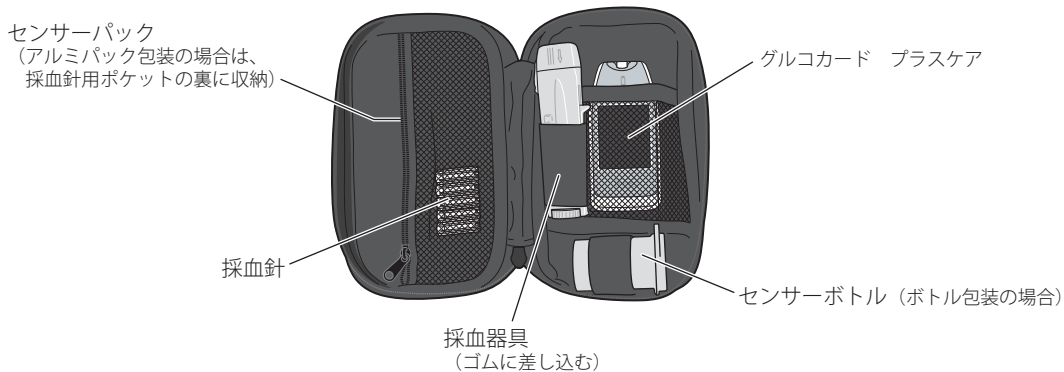
個人情報保護シール

**参考** グルコカード プラスケアには出荷時に電池が装填されており、日付と時刻も設定済みです。



# 収納ケースの使いかた

グルコカード プラスケアを以下のように収納してから、ジッパーを閉めてください。



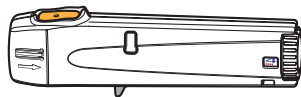
**参考** 濡れたものを長時間入れたままにしないでください。色移りのおそれがあります。

# 血糖値の測定に必要なもの

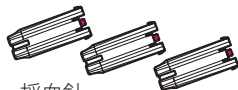
血糖値を測定するには、以下のものを準備してください。



グルコカード プラスケア



採血器具



採血針



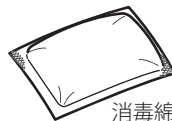
手帳  
(自己管理ノートなど)



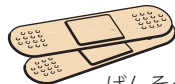
(ボトル包装) (アルミパック包装)



Gセンサー



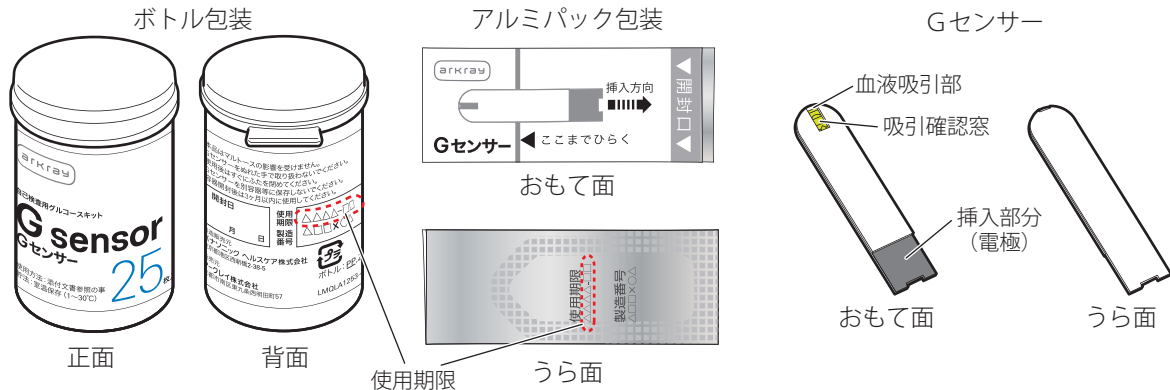
消毒綿



ばんそうこう

## Gセンサー

グルコカード プラスケアには、Gセンサーをご使用ください。



**重要** Gセンサーは、使用期限内のものをご用意ください。

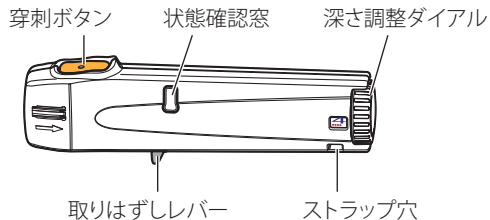
**重要** 測定原理については、Gセンサーの添付文書をお読みください。

## 採血器具

採血針



採血器具



**重要** 採血針は、使用期限内のものをご用意ください。

**重要** 詳しい取り扱い方法については、採血器具および採血針の添付文書および取扱説明書をお読みください。

**参考** 弊社では各種の採血器具と、対応する各種採血針をご用意しております。

MEMO

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

はじめに

使用上の注意

準備

測定

便利な機能

電池の交換

困ったときは

# 血糖値の測定

指先から採血し、グルコカード プラスケアで血糖値を測定する方法を説明します。

## 1 準備をする

血糖値の測定に必要なものがすべてそろっていることを確認します（25ページ参照）。

## 2 手を洗う



①必ず手を流水で洗います。

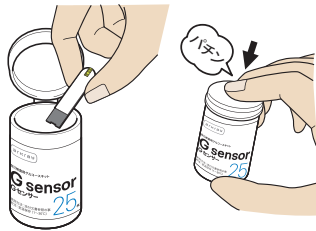
**重要** 果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、高値を示すおそれがあります。



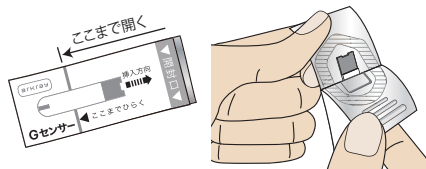
②十分に乾かします。

### 3 Gセンサーを取り出す

#### 【ボトル包装の場合】



#### 【アルミパック包装の場合】



#### 【ボトル包装の場合】

- ① ボトルのふたを開け、Gセンサーを1枚取り出し、すぐにふたを閉めます。

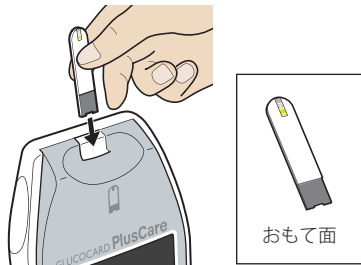
#### 【アルミパック包装の場合】

- ① アルミパックを開け、Gセンサーを取り出します。

**重要** Gセンサーをボトルまたはアルミパックから出して長時間放置したり、手で持ったままにしないでください。また、濡れたり汚れたりした手で持たないでください。正しい測定結果が得られません。または、エラーが発生するおそれがあります。

**重要** ボトル包装の場合、ボトルからGセンサーを取り出したらすぐにふたを閉めてください。湿気に弱いため正しい測定結果が得られなくなります。または、エラーが発生するおそれがあります。

#### 4 Gセンサーを差し込む



- ① Gセンサーのおもて面を手前にして持ちます。
- ② センサー挿入口の奥までしっかりと差し込みます。



イラストは  
月ごとに  
変わります。

・「ピッ」と鳴って電源が入り、各月の季節画面が表示されます。

**重要** この画面が表示されているあいだは、Gセンサーを血液に接触させないでください。エラーが表示されて測定できません。



## 5 画面を確認する



血液を吸引させてください。


前回の測定結果  
※測定結果がないときは「---」です。



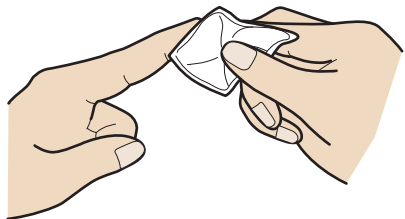
①左図の画面が交互に表示されるのを確認します。

この後、5分以内に手順 **8** まで進み、血液を吸引させてください。

**参考** 2分を過ぎると画面が暗くなり、5分を過ぎると表示が消えます。

**参考**  マークは音声ガイドを示します。お買い上げの時点では、音声ガイドはオフに設定されています（50ページ参照）。

## 6 消毒する



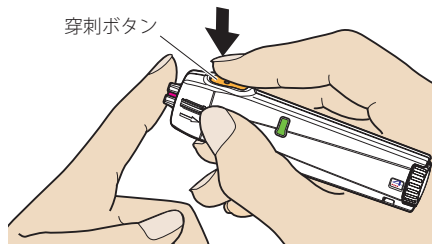
①採血する指先を消毒綿で消毒し、十分に乾燥させます。

### 警告

感染の危険性がありますので、採血部位を必ず消毒してください。

**重要** 採血部位を十分に乾燥させてください。乾燥が不十分な場合は、正しい測定結果が得られません。

## 7 採血をする



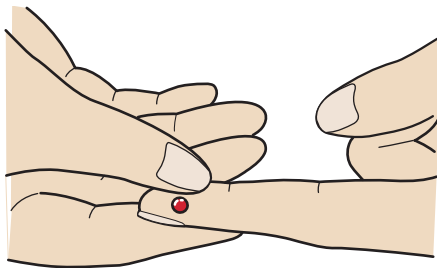
- ①採血器具に採血針をセットします。  
・採血器具の取扱説明書 参照

- ②採血針の先端を指にあてて刺し、小さな傷をつくります。採血針は一瞬だけ皮膚を刺し、自動的にもどります。

### 警告

感染の危険がありますので、一度使用した採血針は必ず廃棄してください。

- 重要** 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、低値を示すことがあります。  
・脱水状態 ・ショック状態 ・末梢循環障害



③ 刺し傷をつけたまわりを軽く押し、ゴマ粒大よりも多めの血液を出します。

〈血液量の目安〉  
直径1.5 mm以上



**参考** 血液の出が悪いときは、あらかじめ採血する部位を温めたり、マッサージをしたりして、血行を良くしてから採血してください。

## 8 血液に接触させる



正しい血液の吸引量



吸引確認窓

血液の吸引量が少ない



①手順**5**の画面が表示されていることを確認します。

**参考** 電源が切れている場合は、Gセンサーを抜き取り、もう一度、差し込んでください。

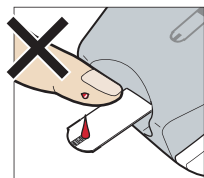
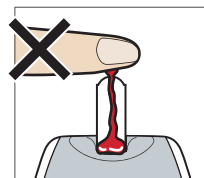
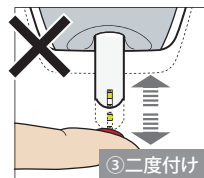
②Gセンサーの先端を下に向けて、グルコカード プラスケアを持ちます。

③Gセンサーの先端に血液を接触させます。

④吸引確認窓の全面が赤くなるまで十分に血液を吸引させます。

⑤「ピッ」と鳴ったら、指をはなします。

・測定が開始されます。



**重要** 血液の吸引が適切でないと正しい測定結果が得られないことがあります。

- ① Gセンサーを皮膚に押しつけないでください。
- ② Gセンサーで血液をすくい取らないでください。
- ③ 一度血液からはなしたGセンサーに、血液を二度付けしないでください。
- ④ Gセンサーを皮膚にひっかけて、血液を飛び散らさないでください。

**重要** Gセンサーの先端を上向きにした状態で血液に接触させないでください。センサー挿入口から内部に血液が入り、故障の原因になります。

**重要** Gセンサーの吸引確認窓の上から血液を接触させても測定できません。必ず先端を血液に接触させてください。

## 9 測定結果を確認する



・ カウントダウン「5」……▶「1」が表示されます。

**重要** 測定結果が表示されるまで G センサーに振動を与えないでください。  
また、途中で G センサーを抜かないでください。誤って廃棄レバーを  
スライドしないよう注意してください。

①測定結果を確認します。

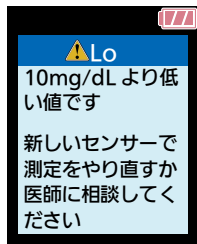
・ 測定結果はグルコカード プラスケアに記憶されます。



低値の場合



10より低い値です。  
新しいセンサーで  
測定をやり直すか、  
医師に相談して  
ください。



**重要**

「Lo」が表示されたら

測定結果が10 mg/dLより低いときは「Lo」と表示されます。

- 1) 新しいGセンサーを使って測定をやりなおしてください。
- 2) 同じメッセージが表示されるときは、症状がいちじるしく悪化しているおそれがあります。すぐにかかりつけの医師に相談してください。

**参考**

▲▼■のいずれかのボタンを押すとメッセージが解除されます（操作ボタンの位置：45ページ参照）。

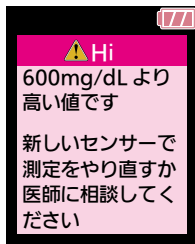




高値の場合



600より高い値です。  
流水でよく手を洗い  
新しいセンサーで  
測定をやり直すか、  
医師に相談して  
ください。



**重要** 「Hi」が表示されたら

測定結果が600 mg/dLより高いときは「Hi」と表示されます。

- 1) 新しいGセンサーを使って測定をやりなおしてください。
- 2) 同じメッセージが表示されるときは、症状がいちじるしく悪化しているおそれがあります。すぐにかかりつけの医師に相談してください。

**参考** ▲▼■のいずれかのボタンを押すとメッセージが解除されます（操作ボタンの位置：45ページ参照）。

はじめに

使用上の注意

準備

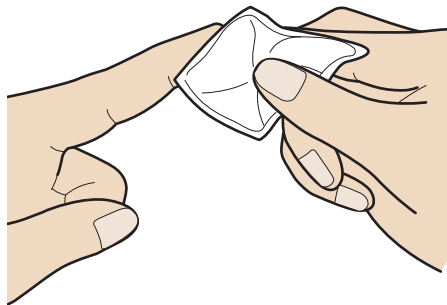
測定

便利な機能

電池の交換

困ったときは

## 10 採血部位を消毒する

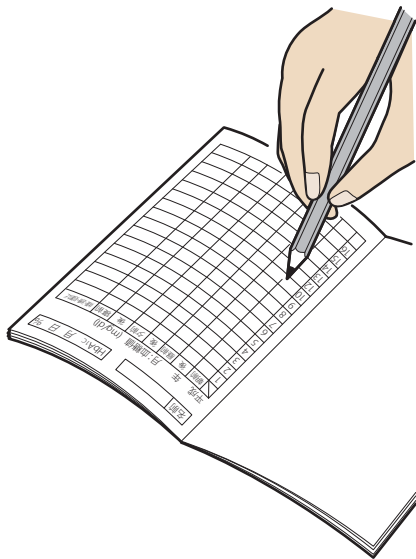


①採血した部位を、消毒綿などで消毒します。

### 警告

感染の危険があるため、採血部位は必ず消毒してください。また、必要に応じてばんそうこうなどで止血および保護をしてください。傷口が治りにくいときは、こまめに消毒してください。

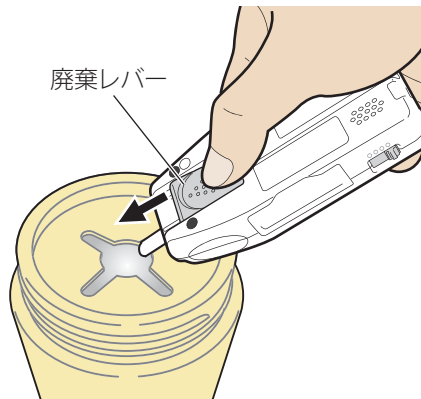
## ① 測定結果を記録する



①測定結果を手帳（自己管理ノートなど）に記録します。

**重要** 測定結果をかかりつけの医師に報告し、今後の治療方針について相談してください。

## 12 Gセンサーを捨てる



電源オフ



電源をオフに  
します。

① 廃棄レバーをスライドさせ、Gセンサーをはずします。

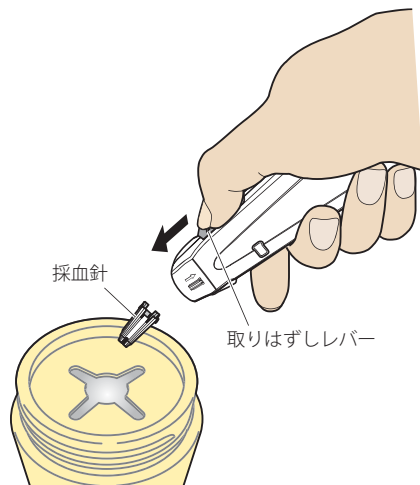
**警告**

血液が飛び散らないよう注意して、廃棄用容器の中に向けてGセンサーを排出してください。

**警告**

病原微生物などの感染を防ぐため、血液が付着したGセンサーは、他の人に触れないように廃棄してください。

・電源が切れます。

**B** 採血針を捨てる

- ①採血器具から採血針はずします。  
かかりつけの医師の指導にしたがって、採血針を廃棄します。

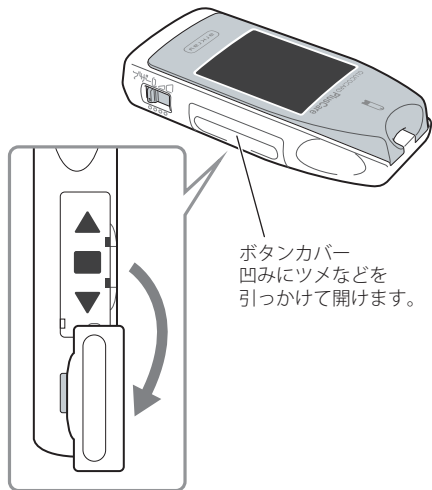
**警告**

病原微生物などの感染を防ぐため、一度使用した採血針は必ず廃棄してください。また他の人に触れないよう注意して廃棄してください。

**重要** 採血器具と採血針の取り扱い方法については、それぞれの添付文書および取扱説明書をお読みください。

# 操作ボタンを使うには

操作ボタンを使うには、右側面のボタンカバーを開けてください。



ボタンカバー  
凹みにツメなどを  
引っかけて開けます。

ボタン	説明
▲	[メニュー] 画面で上の項目に移動します。 [日時設定] 画面で、数値を戻します。
■	電源が切れている状態で押すと、記憶データが表示されます。 5秒間押し続けると、[メニュー] 画面が表示されます。
▼	[メニュー] 画面で下の項目に移動します。 [日時設定] 画面で、数値を進めます。

詳しい使いかたは各操作手順で説明しています。

## 電源を入れる

グルコカード プラスケアは、Gセンサーを差し込むか、■ボタンを押すことで自動で電源が入ります。

## 電源を切る



- すぐに電源を切るには  
■ボタンを2秒間押し続けます。

**参考** [メニュー] 画面からも電源を切ることができます。

**参考** 操作ボタンの位置：45ページ参照



- そのまま置いておく  
5分間、操作しないと自動で電源が切れます。  
(2分経過で画面が暗くなり、省電力モードになります。)

機能		説明	初期設定	参照
記憶データの確認		記憶データ（過去の測定結果）を表示します。	—	48
音声ガイド・ブザー音		音声ガイドとブザー音を設定します。	ブザー	50
メニュー画面	日時設定	日付と時刻を設定します。	現在の日時 24時間表示	51
	測定値色設定	測定値が低値または高値の場合、数値に色をつけて表示することができます。  <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">注意</div> 測定値に色をつけて表示する場合は、必ず医師の指示のもとでおこなってください。  <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block; color: blue; font-weight: bold;">重要</div> 青色・赤色で表示されたときも、必ず数値を確認してください。	無効	54
	通信設定	通信のタイプを設定します。	Felica	56



# 記憶データを確認する

血糖値の記憶データ（過去の測定結果）は、最大800件分が記憶されます。800件を超えると、古い記憶データから消去されます。



最新の記憶データ

2月12日  
7時30分。  
100です。



ひとつ古い記憶データ

2月11日  
8時20分  
134です。

① ■ ボタンを押します。

・ ボタンの位置：45ページ参照

② 電源が入り、最新の記憶データが表示されます。

③ ひとつ古い記憶データを表示するには、▼ボタンを押します。

**参考** ▲：ひとつ前の記憶データにもどります。

**参考** 時間表示が [12時間表示] に設定されている場合 (51ページ参照) も、音声ガイドは24時間表現となります。

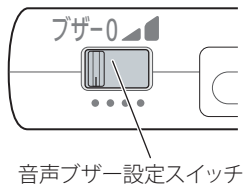


記憶データは  
以上です。

- ④最後に「終わり」が表示されます。
  - ・これ以上、古い記憶データはありません。
- ⑤電源を切るには、■ボタンを2秒間押し続けます。


# 音声ガイドとブザー音を設定する

音声ガイドとブザー音の設定は、音声ブザー設定スイッチで切り替えます。



記号	音声ガイド	ブザー音
ブザー	×	○
0	×	×
▲	○ (音量小)	○
■	○ (音量大)	○

## ●音声ガイド

測定操作の状況、測定結果、測定できない理由などを音声でお知らせします。  
この取扱説明書では、音声ガイドを  マークで示しています。

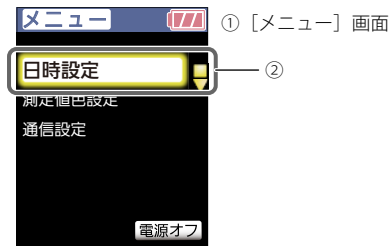
## ●ブザー音

電源が入ったときや、測定操作のタイミングを示すときに「ピッ」と鳴ります。

**参考** お買い上げの時点では音声ブザー設定スイッチは、「ブザー」に設定されています。

# 日付と時刻を設定する

日付と時刻を設定します。



① [メニュー] 画面を表示します。

- ボタン操作 ■ (電源が切れている状態で、5秒間押し続ける)
- ボタンの位置：45ページ参照

② [日時設定] を選択します。

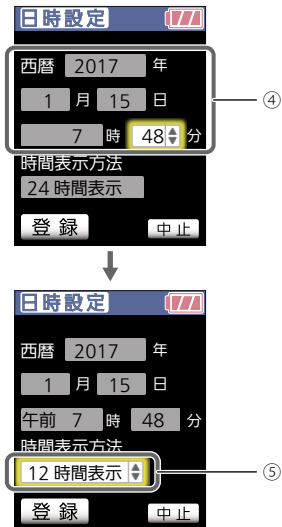
- ボタン操作 ■



③ [西暦] [月] [日] [時] [分] のいずれかを選択します。

- ボタン操作 ▼▲(選択) → ■

**参考** ■ ボタンを押すと、数値の右側に  が表示され、数値の変更ができるようになります。



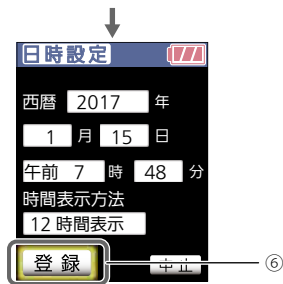
④ 数値を設定します。

- ボタン操作 ▼▲ (数値設定) → ■

**参考** ▲ : 数値を戻す  
▼ : 数値を進める

⑤ [時間表示方法] を設定します (必要なとき)。

- ボタン操作 ▼ → ■ → ▼▲ (選択) → ■
- [24時間表示]、[12時間表示]



⑥登録します。

- ボタン操作 ▼ → ■
- 「日付・時刻を設定しました」と表示された後、[メニュー] 画面に戻ります。

⑦電源を切るには、[電源オフ] を選択します。

- ボタン操作 ▼ → ■

# 測定値に色をつける

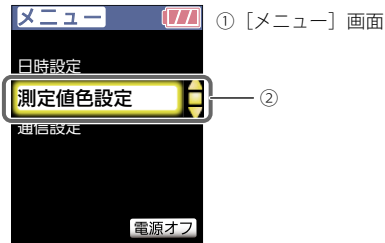
測定結果が低値または高値の場合に、数値に色をつけて表示することができます。

青色：目標値より低い（初期設定：70 mg/dL以下）

赤色：目標値より高い（初期設定：180 mg/dL以上）

## 注意

測定値に色をつけて表示する場合は、必ず医師の指示のもとでおこなってください。

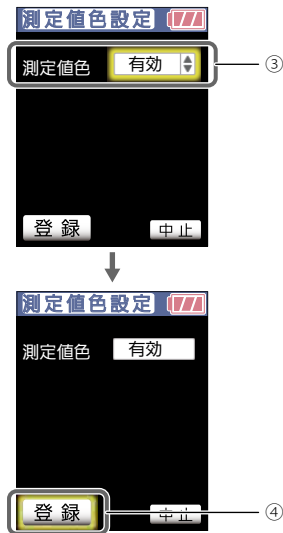


① [メニュー] 画面を表示します。

- ボタン操作 ■（電源が切れている状態で、5秒間押し続ける）
- ボタンの位置：45ページ参照

② [測定値色設定] を選択します。

- ボタン操作 ▼ → ■



③ [無効] または [有効] を選択します。

- ボタン操作 ■ → ▼▲(選択) → ■

④ 登録します。

- ボタン操作 ▼ → ■
- 「測定値色を設定しました」と表示された後、[メニュー] 画面に戻ります。

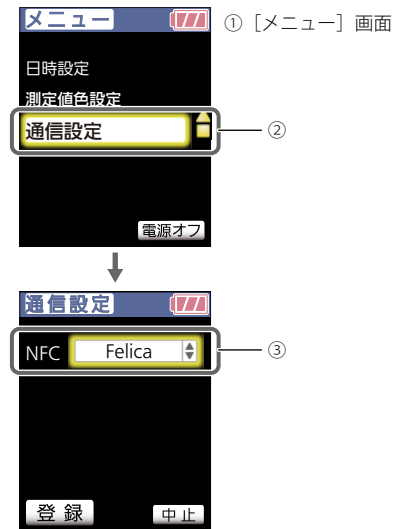
⑤ 電源を切るには、[電源オフ] を選択します。

- ボタン操作 ▼ → ■



# 通信のタイプを設定する

測定結果のデータを外部機器へ送信する場合は、NFCの通信タイプを設定します。



① [メニュー] 画面を表示します。

- ボタン操作 ■ (電源が切れている状態で、5秒間押し続ける)
- ボタンの位置：45ページ参照

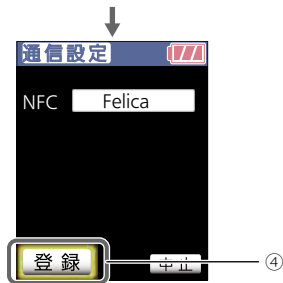
② [通信設定] を選択します。

- ボタン操作 ▼ → ▼ → ■

③ [Felica] または [Type B] を選択します。

- ボタン操作 ■ → ▼▲(選択) → ■

**参考** 外部機器がどちらの通信タイプに対応しているかは、外部機器の販売元にお問い合わせください。



④登録します。

- ボタン操作 ▼ → ■
- 「通信を設定しました」と表示された後、[メニュー] 画面に戻ります。

⑤電源を切るには、[電源オフ] を選択します。

- ボタン操作 ▼ → ■

MEMO

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

- はじめに
- 使用上の注意
- 準備
- 測定
- 便利な機能**
- 電池の交換
- 困ったときは

# 電池を交換する

**重要** 「電池残量が少なくなりました」または「電池残量がなくなりました」と表示されたら新しい電池に交換してください。そのまま測定をはじめると途中で電源が切れ、測定結果が得られないことがあります。



電源を入れた後、  
2秒間表示されます。



電池切れです。

**参考** 電池を交換しても記憶データは消去されません。

**参考** 電池の交換は5分以内に完了してください。5分を超えると内蔵時計がリセットされます。なお、以下の場合は5分以内でもリセットされることがあります。

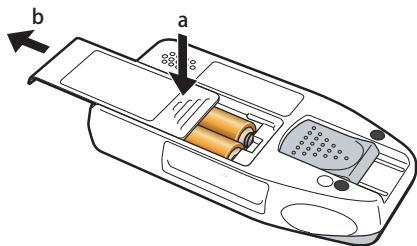
- ・電池切れの画面が表示された後、すぐに電池を交換しなかった場合
  - ・電池を逆向きに入れ、そのまま5分以上放置した場合
- リセットされると、内蔵時計は最終測定日の翌日の0時0分で停止します。電池を交換すると0時0分から動作を開始します。

**参考** 内蔵時計がリセットされた場合は、正しい日付・時刻にあわせてください（51ページ参照）。

準備するもの：アルカリ乾電池 単4形（2個）

※コンビニエンスストアまたは電気店でのお求めください。

※電池は2個同時に新しいものに交換してください。



①裏面の電池カバーを開けます。

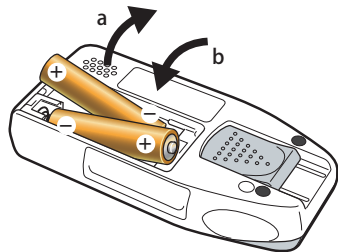
- ・▽マークを押したまま (a)、スライドさせると開きます (b)。

**警告**

取りはずした電池カバーは、乳幼児が誤って飲み込んだりしないよう取り扱いに注意してください。

**注意**

内部の金属部分には手や金属で触れないでください。

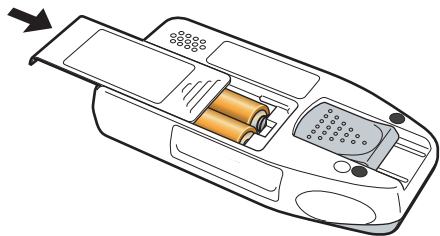


②古い電池を取り出し (a)、新しい電池を入れます (b)。

- ・電池を取り出すときは、電池を一側 (バネがある方向) に軽く押しながら取り出してください。

**注意**

電池は+側と-側が左図の向きになるように入れてください。



③電池カバーを閉めます。

- 電池カバーをスライドさせ、カチッと音がすれば、正しく閉まっています。

### 警告

電池は乳幼児の手の届かないところに保管または廃棄してください。万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

### 警告

使用済みの電池を加熱したり、火に投げ入れたりしないでください。破裂してけがを負うおそれがあります。

**重要** 使用済みの電池は、お住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。

MEMO

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

はじめに

使用上の注意

準備

測定

便利な機能

電池の交換

困ったときは

## 操作方法に困ったときは

グルコカード プラスケアのご使用中に「故障かな？」と思ったときや、操作方法に困ったときにお読みください。お読みになっても問題が解決しないときは、販売元にお問い合わせください。

質問1：血液をGセンサーに接触させても測定が開始されない

質問2：Gセンサーを差し込んでも何も表示されない、またはすぐに消える

質問3：測定結果がおかしいと感じる

質問4：『測定温度範囲外です』と表示される

質問5：『電池残量が少なくなりました』『電池残量がなくなりました』と表示される

質問6：ブザー音や音声ガイドが鳴らない



## 質問1：血液をGセンサーに接触させても測定が開始されない

- 血液を一度吸引させたGセンサーを使用した場合は、新しいものに取り替えてください。
- センサー挿入口の奥までGセンサーをしっかりと差し込んでください（⇒31ページ参照）。
- 『血液を吸引させてください』と表示されているあいだに、血液を接触させてください。
- Gセンサーの先端に血液を接触させるときは、正しい方法で行ってください（⇒36ページ参照）
- Gセンサーをグルコカード プラスケアに差し込んでから血液に接触させてください。差し込む前に血液に接触させると測定できません。

## 質問2：Gセンサーを差し込んでも何も表示されない、またはすぐに消える

- センサー挿入口の奥までGセンサーをしっかりと差し込んでください（⇒31ページ参照）
- 電池が残り少なくなっている場合は、新しい電池と交換してください（⇒59ページ参照）
- 電池を正しく入れてください（⇒60ページ参照）

### 質問3：測定結果がおかしいと感じる

- 血液を一度吸引させたGセンサーを使用した場合は、新しいものに取り替えてください。
- 使用期限内のGセンサーを使用してください。
- グルコカード プラスケアを使用する場所に20～30分置いて、温度や湿度になじませてください。
- Gセンサーの先端に血液を接触させるときは、正しい方法で行ってください（⇒36ページ参照）
- ボトルまたはアルミパックからGセンサーを取り出したら、すぐに測定してください。長時間放置したり、手で持ったままにしていると正しい測定結果が得られません。
- ボトル入りのセンサーをお使いのとき  
次の場合は、新しいボトルのGセンサーをご使用ください。
  - ・ボトルを開封してから3ヶ月以上経過している。
  - ・ボトルのふたが長時間開けたままになっていた。
  - ・ボトルから出して、別の容器に保存していた。
- アルミパック入りのセンサーをお使いのとき  
アルミパックが長時間開けたままになっていた場合は、新しいアルミパックのGセンサーをご使用ください。

## 質問4：『測定温度範囲外です』と表示される

- グルコカード プラスケアの機器温度が測定温度の範囲外です。温度範囲外での測定は、適正温度での測定を比べて精度が低くなりますので、参考値としてください。
- 正しい測定値を得るには、グルコカード プラスケアとGセンサーを測定温度範囲の場所に置き、20～30分なじませてから、再度Gセンサーを差し込んでください。電源が入った後、エラー「E-2」および「測定温度範囲外です」が表示されないことを確認してから、血液を接触させてください。(⇒36ページ参照)
- エラー「E-2」が表示されたときは、測定温度の場所に置き、20～30分なじませてから測定をやりなおしてください。再度エラー「E-2」が表示されるときは、販売元にお問い合わせください。



測定温度範囲：10～40℃

**重要** 「測定温度範囲外です」と表示されたまま測定すると、測定結果に〔温度範囲外〕マークがつきます。

## 質問5：『電池残量が少なくなりました』『電池残量がなくなりました』と表示される

- 電池の残量が少ないか、残量がなくなっています。すぐに新しい電池（アルカリ乾電池 単4形、2本）と交換してください。（⇒59ページ参照）

## 質問6：ブザー音や音声ガイドが鳴らない

- 側面の音声ブザー設定スイッチが「0」に設定されていると、ブザー音と音声ガイドが鳴りません。「ブザー」「（音量小）」「（音量大）」のいずれかに設定してください（⇒50ページ参照）
- 「電池残量がなくなりました」と表示されているときは、ブザー音と音声ガイドが鳴らない場合があります。新しい電池に交換してください（⇒59ページ参照）

画面に表示されるマークや記号について説明します。

## 電源が入った直後

各月の季節画面



月ごとにイラストが変わります。

名前  
※専用ソフトにより登録

現在の日時

## Gセンサーを差し込んだ後

### 警告

※機器温度が測定温度外の場合に表示



### 前回の測定値

※測定値色設定が有効のとき、測定値に応じて以下の色で表示  
 黒色：目標値の範囲内  
 青色：低値  
 赤色：高値

### 電池残量

- 十分
- 残量20%
- 残量5%
- 電池切れ

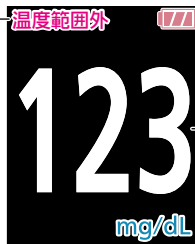
前回の測定日時

測定温度範囲外マーク

※前回の測定が測定温度外であったときに表示

## 測定結果

測定温度範囲外マーク  
 ※機器温度が測定温度外であつたときに表示



測定値

※測定値色設定が有効のとき、  
 測定値に応じて以下の色で表示  
 白色：目標値の範囲内  
 青色：低値  
 赤色：高値

## 記憶データ (過去の測定結果)

表示の順番/総数



測定温度範囲外マーク

※機器温度が測定温度外であつたときに表示

はじめに

使用上の注意

準備

測定

便利な機能

電池の交換

困ったときは

# エラー表示の原因と対処方法

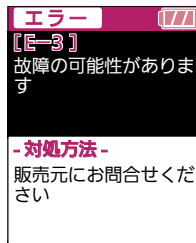
[エラー] が表示されたときは、対処方法にしたがってください。

エラー [E-1]	
表示 音声ガイド	
原因	グルコカード プラスケアが故障している可能性があります (マイコン部の異常)。
対処方法	販売元にお問い合わせください。



エラー [E-2]	
表示 音声ガイド	<p>エラー [E-2]</p> <p>測定温度の範囲外です</p> <p>- 対処方法 -</p> <p>10 ~ 40℃の場所で、 20 ~ 30 分なじませ てから測定してくださ い</p> <p>エラー [E-2]</p> <p>測定温度の範囲外です</p> <p>- 対処方法 -</p> <p>10 ~ 40℃の場所で、 20 ~ 30 分なじませ てから測定してくださ い</p> <p>エラー2です。 測定温度の範囲外です。 10~40℃の場所で、 20~30分なじませてから 測定してください。</p>
原因	測定温度の範囲外です。
対処方法	温度10~40℃の場所にグルコカード プラスケアとGセンサーを置き、20~30分以上なじませてから測定をやりなおしてください。 再度「E-2」が表示されるときは、販売元にお問い合わせください。

## エラー [E-3]

表示  
音声ガイド



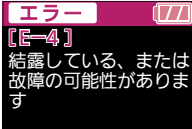


エラー3です。  
故障の可能性があります。  
販売元にお問い合わせください。

原因

グルコカード プラスケアが故障している可能性があります（外部入出力の異常）。

対処方法

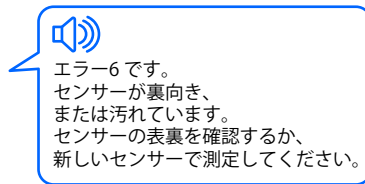
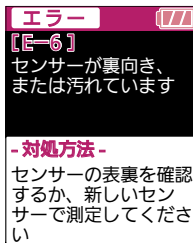
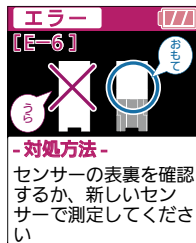
販売元にお問い合わせください。

エラー [E-4]	
表示 音声ガイド	    <div data-bbox="1166 291 1568 567" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-left: 20px;">  <p>エラー4です。 結露している、または故障している可能性があります。 10~40℃の場所で、 20~30分なじませてから測定してください。</p> </div>
原因 1	グルコカード プラスケアの内部が結露しているおそれがあります。
対処方法 1	温度10~40℃、湿度20~80%の場所にグルコカード プラスケアとGセンサーを置き、20~30分以上放置してから測定をやりなおしてください。
原因 2	対処方法 1 をおこなった後も「E-4」が表示されるときは、グルコカード プラスケアが故障している可能性があります（温度計の異常）。
対処方法 2	販売元にお問い合わせください。

## エラー [E-5]

表示 音声ガイド	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>エラー</b> </p> <p><b>[E-5]</b></p> <p>20分～30分</p> <p><b>-対処方法-</b> 10～40℃の場所で、 20～30分なじませて から測定してください</p> </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>エラー</b> </p> <p><b>[E-5]</b></p> <p>結露している、または 故障の可能性があります</p> <p><b>-対処方法-</b> 10～40℃の場所で、 20～30分なじませて から測定してください</p> </div> <div style="font-size: 2em;">←</div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>エラー-5です。 結露している、または故障 している可能性があります。 10～40℃の場所で、 20～30分なじませてから 測定してください。</p> </div> </div>
原因1	グルコカード プラスケアの内部が結露しているおそれがあります。
対処方法1	温度10～40℃、湿度20～80%の場所にグルコカード プラスケアとGセンサーを置き、20～30分以上放置してから測定をやりなおしてください。
原因2	対処方法1をおこなった後も「E-5」が表示されるときは、センサー挿入口への血液の流入等によりグルコカード プラスケアが故障している可能性があります（測定部の異常）。
対処方法2	販売元にお問い合わせください。

## エラー [E-6]

表示  
音声ガイド

原因 1

Gセンサーが裏向きに差し込まれました。

対処方法 1

Gセンサーの表裏を確認して、正しい向きで差し込んでください。

原因 2

Gセンサーの挿入部分（電極）に水やアルコールなどがついて汚れています。

対処方法 2

新しいGセンサーを使用して、測定をやりなおしてください。

はじめに

使用上の注意

準備

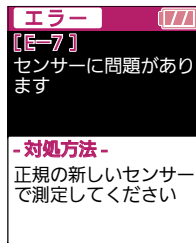
測定

便利な機能

電池の交換

困ったときは

## エラー [E-7]

表示  
音声ガイド

エラー7です。  
センサーに問題があります。  
正規の新しいセンサーで  
測定してください。

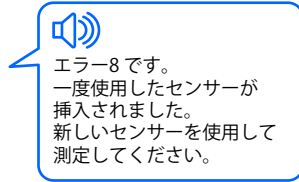
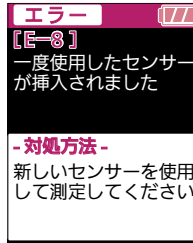
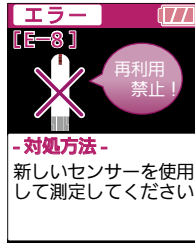
原因1 差し込んだGセンサーの種類が正しくありません。

対処方法1 正規のGセンサーを差し込んでください。

原因2 Gセンサーの挿入部分（電極）に水やアルコールなどがついて汚れています。

対処方法2 新しいGセンサーを使用して、測定をやりなおしてください。

## エラー [E-8]

表示  
音声ガイド

原因 1 血液を一度吸引させたGセンサーが差し込まれました。

対処方法 1 新しいGセンサーを使用して、測定をやりなおしてください。

原因 2 血液をGセンサーに接触させるタイミングが早すぎました。

対処方法 2 新しいGセンサーを差し込んでください。「血液を吸引させてください」と表示されてから吸引させてください。

はじめに

使用上の注意

準備

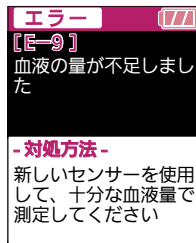
測定

便利な機能

電池の交換

困ったときは

## エラー [E-9]

表示  
音声ガイド

エラー9です。  
血液の量が不足しました。  
新しいセンサーを使用して、  
十分な血液量で測定してください。

原因1

血液が十分に吸引されませんでした。

対処方法1

新しいGセンサーを差し込んでください。次に、Gセンサーの吸引確認窓の全面が赤くなるまで十分に吸引します。

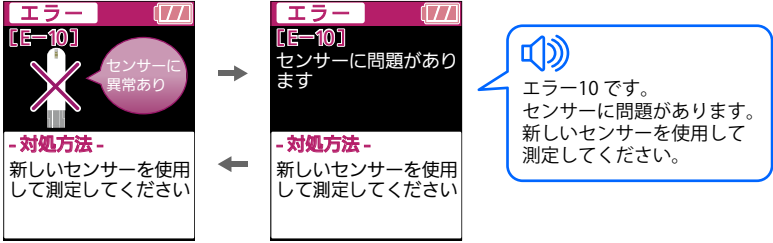
原因2

血液がGセンサーの先端ではなく、別の場所に接触しました。

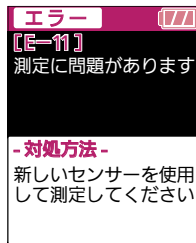
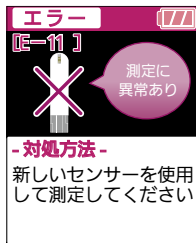
対処方法2

新しいGセンサーを差し込んでください。次に、Gセンサーの先端に血液をつけて吸引させてください。



エラー [E-10]	
表示 音声ガイド	 <p>The diagram illustrates the error handling process for E-10. It shows two stages of the error message display on a device screen, connected by arrows. The first stage shows a sensor icon with a red 'X' and the text 'エラー [E-10] センサーに異常あり' (Error [E-10] Abnormality in sensor). Below it, the instruction '-対処方法-' (Countermeasure) is '新しいセンサーを使用して測定してください' (Please use a new sensor for measurement). An arrow points to the second stage, which shows the text 'エラー [E-10] センサーに問題があります' (Error [E-10] There is a problem with the sensor). Below it, the instruction '-対処方法-' is '新しいセンサーを使用して測定してください'. To the right of the second stage is a speech bubble containing a speaker icon and the text: 'エラー10です。センサーに問題があります。新しいセンサーを使用して測定してください。' (Error 10. There is a problem with the sensor. Please use a new sensor for measurement.)</p>
原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用されたGセンサーが劣化しているおそれがあります。</li> <li>・測定中に異常が発生しました。</li> </ul>
対処方法	新しいGセンサーを使用して、測定をやりなおしてください。

## エラー [E-11]

表示  
音声ガイド

エラー11です。  
測定に問題があります。  
新しいセンサーを使用して  
測定してください。

原因

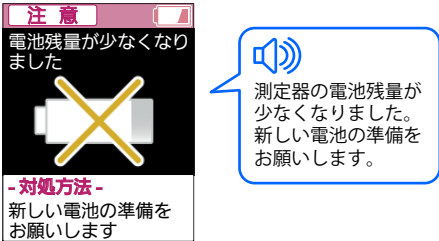
測定中に異常が発生しました（センサーに問題があります）。

対処方法

新しいGセンサーを使用して、測定をやりなおしてください。

# その他の表示の原因と対処方法

[注意] [電池切れ] が表示されたときは、対処方法にしたがってください。

注意 電池残量が少なくなりました。	
表示 音声ガイド	 <p>The image shows a warning screen with a pink header containing the word '注意' (Attention) and a battery icon. The main text reads '電池残量が少なくなりました' (Battery level is low). Below this is an illustration of a battery with a large yellow 'X' over it. At the bottom, it says '- 対処方法 -' (Countermeasure) and '新しい電池の準備をお願いします' (Please prepare new batteries). To the right of the screen is a blue speech bubble containing a speaker icon and the text: '測定器の電池残量が少なくなりました。新しい電池の準備をお願いします。' (The battery level of the measuring device is low. Please prepare new batteries.)</p>
原因	電池残量が少なくなりました。
対処方法	そのまま測定をはじめると途中で電源が切れ、測定結果が得られないことがあります。 できるだけ早く新しい電池（アルカリ乾電池単4形、2個）に交換してください（59ページ参照）。 また、電池は必ず2個とも交換してください。

**電池切れ 電池残量がなくなりました。**表示  
音声ガイド

測定器の電池残量がなくなりました。  
すぐに電池を交換してください。


原因

電池残量がなくなりました。

対処方法

直ちに電池（アルカリ乾電池単4形）を2個とも新しいものと交換してください（59ページ参照）。

**注意** 測定温度範囲外です (0°C以上、10°C未満)

表示 音声ガイド	
原因	グルコカード プラスケアの機器温度が0~10°Cで、適正温度より低くなっています。
対処方法	正しい測定結果を得るには、温度10~40°C、湿度20~80%の場所にグルコカード プラスケアとGセンサーを置き、20~30分以上放置してから測定してください。

**参考** 「測定温度範囲外です」と表示されたまま測定すると、測定結果に「温度範囲外」マークが表示されます。この場合は適正温度での測定と比べて精度が低くなりますので、参考値としてください。

**注意** 測定温度範囲外です（40℃超え、45℃未満）

表示  
音声ガイド



測定温度範囲外です。  
10～40℃の場所  
なじませてから  
測定してください。

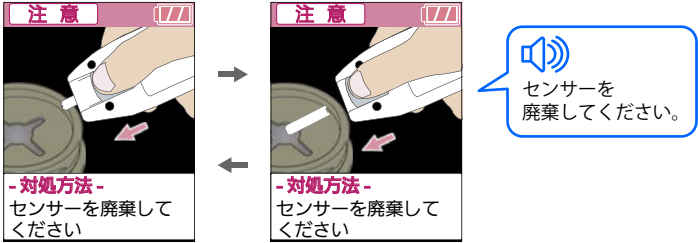
原因

グルコカード プラスケアの機器温度が40～45℃で、適正温度より高くなっています。

対処方法

正しい測定結果を得るには、温度10～40℃、湿度20～80%の場所にグルコカード プラスケアとGセンサーを置き、20～30分以上放置してから測定してください。

**参考** 「測定温度範囲外です」と表示されたまま測定すると、測定結果に「温度範囲外」マークが表示されます。この場合は適正温度での測定と比べて精度が低くなりますので、参考値としてください。

注意	
表示 音声ガイド	 <p>-対処方法- センサーを廃棄してください</p> <p>-対処方法- センサーを廃棄してください</p> <p>センサーを 廃棄してください。</p>
原因	Gセンサーが廃棄されていません。
対処方法	廃棄レバーをスライドさせ、Gセンサーを廃棄してください。

名称	自己検査用グルコース測定器 グルコカード プラスケア
型式	GT-1840
測定項目	血液中のグルコース
必要検体量	全血0.6 $\mu$ L
使用センサー	自己検査用グルコースキット Gセンサー
測定範囲	10~600 mg/dL
測定時間	点着検知後5.5 秒
外部入出力*1	UART通信端子 1個 NFC
電池	1.5V アルカリ乾電池 単4形 2個
電池寿命	約1000回以上（使用方法により測定可能回数が減ることがあります。）
電池寿命表示	電池切れ警告画面の表示
消費電力	0.6 W（最大）
記憶データ数	800測定



時計精度	誤差±80秒/月
使用環境	温度：10～40℃、湿度20～80%（結露しないこと）
保管環境	温度：0～45℃
外形寸法	横48.5×縦101×高さ20.5 mm
重量	82 g（電池を含む）
付属品	取扱説明書（1部）、添付文書（1部）、保証書・保証書登録カード（1部）、個人情報保護シール（1枚）、収納ケース（1個）、アルカリ単4乾電池（2個、装填済）

\*1：専用ソフトウェアを使用し、パソコン等でデータ管理ができます。詳しくは販売元にお問い合わせください。

**参考** グルコカード プラスケアは電池を装填して出荷しておりますので、すぐに測定を開始していただけます。ただし、出荷時に装填された電池はサンプル用のため、記載の電池寿命を保証できません。

**参考** 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

グルコカード プラスケア（GT-1840）の保証期間は、ご購入後3年間です。保証期間中に故障した場合には、良品と交換いたしますので、必ず保証書を添付してください。ただし、次の場合は保証期間内であっても交換の対象となりません。

1. 使用上の不注意による故障ならびに損傷等
2. 天災・地変等の不測の出来事による故障ならびに損傷
3. 独自の修理・調整・改造等による故障
4. その他、製造販売元の責によらない故障ならびに損傷

**重要** 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。



- 英字**  
 Gセンサー ..... 26
- あ行**  
 エラー表示 ..... 71  
 音声ガイド ..... 50  
 音声ブザー設定スイッチ ..... 22
- か行**  
 外部入出力端子 ..... 22  
 記憶データ ..... 48  
 血糖値の測定 ..... 29
- さ行**  
 採血器具 ..... 27  
 採血針 ..... 27  
 時刻 ..... 51  
 収納ケース ..... 24  
 仕様 ..... 87  
 ストラップ穴 ..... 22  
 スピーカー ..... 22  
 センサー挿入口 ..... 22
- 操作ボタン ..... 22, 45  
 測定 ..... 29  
 測定結果 ..... 38  
 測定値の色 ..... 54
- た行**  
 通信のタイプ ..... 56  
 電源 ..... 46  
 電池カバー ..... 22  
 電池の交換 ..... 59
- は行**  
 廃棄レバー ..... 22  
 日付 ..... 51  
 表示部 ..... 22  
 ブザー音 ..... 50  
 便利な機能の一覧 ..... 47  
 保証規定 ..... 89  
 ボタンカバー ..... 22

製造販売元

**株式会社アークレイ ファクトリー**

滋賀県甲賀市甲南町柑子1480

販売元

**アークレイ株式会社**

京都市南区東九条西明田町57

・製品のお問合せは

アークレイ コールセンター

**0120-81-1955**

6:00～22:00 (年中無休)